

小學
唱歌集

初編

767.7

M753

W

教育部各省音樂取調掛
編纂

唱歌集



明治四十年十一月刊行

300464

緒言

凡ノ教育ノ要ハ德育智育體育ノ三者ニ在リ而シテ小學ニ在リテハ最モ宜ク徳性ヲ涵養スルヲ以テ要トスヘシ今夫レ音樂ノ物タル性情ニ本ツキ人心ヲ正シ風化ヲ助クルノ妙用アリ故ニ古ヨリ明君賢相特ニ之ヲ振興シ之ヲ家國ニ播サント欲セシ昔和漢歐米ノ史冊歴々徴スヘシ曩ニ我政府ノ始テ學制ヲ頒ツニ方リテハ已ニ唱歌ヲ普通學科中ニ

一般資料

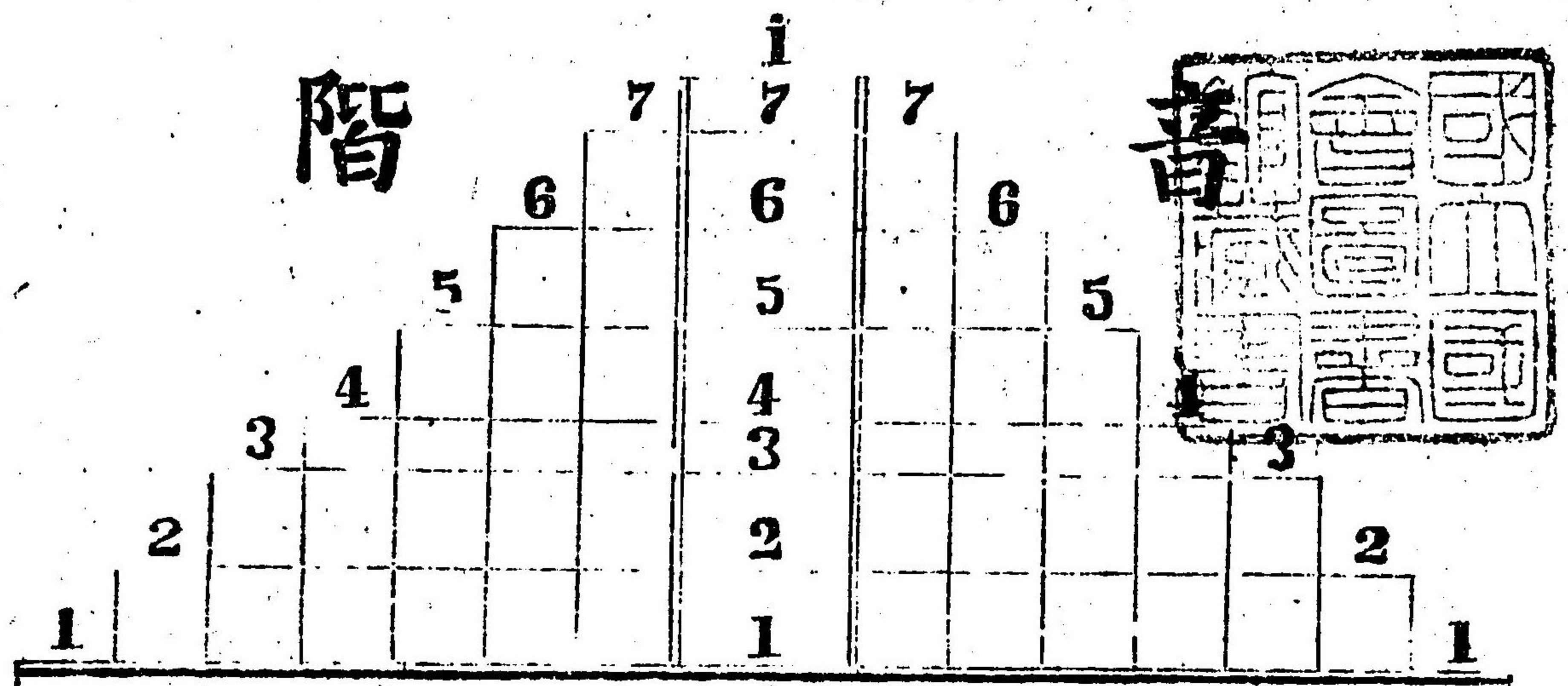
唱歌集 緒言

緒言

凡ノ教育ノ要ハ德育智育體育ノ三者ニ在リ而シテ小學ニ在リテハ最モ宜ク徳性ヲ涵養スルヲ以テ要トスヘシ今夫レ音樂ノ物タル性情ニ本ツキ人心ヲ正シ風化ヲ助クルノ妙用アリ故ニ古ヨリ明君賢相特ニ之ヲ振興シ之ヲ家國ニ播サント欲セシ者和漢歐米ノ史冊歴々徴スヘシ曩ニ我政府ノ始テ學制ヲ頒ツニ方リテハ己ニ唱歌ヲ普通學科中ニ

掲ケテ一般必須ノ科タルヲ示シ其
教則綱領ヲ定ムルニ至テハ亦之ヲ
小學各等科ニ加ヘテ其必ス學ハサ
ル可ラサルヲ示セリ然シテ之ヲ學
校ニ實施スルニ及ニテハ必ス歌曲
其當ヲ得聲音其正ヲ得テ能ク教育
ノ真理ニ悖ラサルヲ要スレハ此レ
其事タル固ヨリ容易ニ舉行スヘキ
ニ非ス我省此ニ見ル所アリ客年特
ニ音樂取調掛ヲ設ケ充ルニ本邦ノ
學士音樂家等ヲ以テシ且ツ遠ク米

國有名ノ音樂教師ヲ聘シ百方討究
論悉シ本邦固有ノ音律ニ基ツキ彼
長ヲ取り我短ヲ補ヒ以テ我學校ニ
適用スヘキ者ヲ撰定ヒシム爾後諸
員ノ協力ニ頼リ稍々數曲ヲ得之
ヲ東京師範學校及東京女子師範學
校生徒并兩校附屬小學生徒ニ施シ
テ其適否ヲ試三更ニ取捨選擇シ得
ル所ニ隨テ之ヲ録シ遂ニ歌曲數十
ノ多キニ至レリ爰ニ之ヲ別刷ニ付
シ名ケテ小學唱歌集ト云集レ固ヨ



習練階音

- [一] 1,2 2,1
- [二] 1,2,3 3,2,1
- [三] 1,2,3,4 4,3,2,1
- [四] 1,2,3,4,5 5,4,3,2,1
- [五] 1,2,3,4,5,6 6,5,4,3,2,1
- [六] 1,2,3,4,5,6,7,i i,7,6,5,4,3,2,1

リ草創ニ属スルヲ以テ或ハ未々完
 全ナラサル者アラント雖モ庶幾ク
 ハ亦我教育進歩ノ一助ニ資スルニ
 足ラント云爾

明治十四年十月

音樂取調掛長

伊澤修二謹識

| | |
|---|---|
| 7 | 八 |
| 6 | 1 |
| 5 | 1 |
| 4 | 六 |
| 3 | 六 |
| 2 | 三 |
| 1 | 八 |

1, 2, 3 | 1, 2, 3 | 3, 2, 1 | 3, 2, 1 | 1, 3, 2 | 1, 3, 2 | 2, 3, 1 | 2, 3, 1 |

1, 3, 5 | 1, 3, 5 | 1, 4, 6 | 1, 4, 6 | 6, 4, 1 | 6, 4, 1 | 5, 3, 1 | 5, 3, 1 |

師 生 師 生

1, 2, 3 — | 1, 2, 3 — | 3, 2, 1 — | 3, 2, 1 — |

1, 3, 2 — | 1, 3, 2 — | 2, 3, 1 — | 2, 3, 1 — |

1, 3, 5 — | 1, 3, 5 — | 5, 3, 1 — | 5, 3, 1 — |

1, 4, 6 — | 1, 4, 6 — | 6, 4, 1 — | 6, 4, 1 — |

師

生

1, 3, 5, 5 | 1, 3, 5 — | 1, 3, 5, 5 | 1, 3, 5 — |

5, 3, 1, 3 | 5, 3, 1 — | 5, 3, 1, 3 | 5, 3, 1 — |

第一 かをれ



かなをれふほへそのふるさくら。
 かなまれやぐれちとけのほくら。
 かな祢けなびけ。
 かなけらあくら。

第一 かをれ

- 一 かなをれふほへそのふるさくら。
- 二 かなまれやぐれちとけのほくら。
- 三 かな祢けなびけ。
- 四 かなけらあくら。

第二 春山

あまのやまのけしき。
 あまのやまのけしき。
 あまのやまのけしき。
 あまのやまのけしき。
 あまのやまのけしき。

第三

第一 かがれ かがれ じろは しの の じわ の ぱりや
 第二 の 不れ の 不れ の は せ の わ の の

第三

第一 へれ へれ へれ へれ へれ へれ へれ へれ へれ へれ
 第二 し げ し げ し げ し げ し げ し げ し げ

第五

第一 ちヨニ ちヨニ ちヨニ ちヨニ ちヨニ ちヨニ ちヨニ ちヨニ ちヨニ ちヨニ
 第二 いおせ いおせ いおせ いおせ いおせ いおせ いおせ いおせ いおせ いおせ

第六

第一 ウキ ヲ ノ ウ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ
 第二 キ ヲ ノ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ ヲ

第三 あがれ

一 あがれ。 廣野のひかり。
 二 のぼき。 川津ろ若船。

第四 いまへ

一 いはへ。 きんごの代いはる。
 二 志げき。 ちんげん小松。

第五 子代り

一 ちよら。 子代のきんごみ。
 二 いませ。 わのきんごら。

第六 わがの浦

わがの浦あり。 夕暮ほみちくれば。
 きんごのむら。 夕暮ほみちくれば。

第七 春を花見

一 ちるは。も都へ見。
みと。野。おむる。
二 阿。来。を。は。来。み。
は。ら。都。を。く。ら。

300464

第八 号

一 う。ら。ひ。す。き。都。け。
う。免。は。く。そ。ろ。り。
二 か。あ。の。程。わ。れ。
霧。多。く。そ。ろ。り。

Musical score for 'Spring and Flower Viewing' (第七 春を花見). The score is written on four staves in 2/4 time. The lyrics are written below the notes.

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一 | ち | る | は | 。 | も | 都 | へ | 見 | 。 |
| 二 | み | と | 。 | 野 | 。 | お | む | る | 。 |
| 三 | 阿 | 。 | 来 | 。 | を | 。 | は | 。 | 来 |
| 四 | み | 。 | 。 | 。 | 。 | 。 | 。 | 。 | 。 |

第九

ハは サゴ グキ チマ クル ビマ ナホ ニに ベま ノは

ヨミ モミ ノガ タカ ミヨ ノの マガ ゴザ コガ

タア シウ アキ ノヒ ヨナ ヤハ ラマ ヲヤ ソノ ゼハ カル ルヤ

ベゴ ヲヒ ヌキ ナハ ツハ ムシ ニミ コミ ゴは カキ ア

第九 野邊

一 野邊。ながびくちぶはれ。
 の方乃。長乃。まごころ。

二 けまろ。あかろ。やのさつら。
 考の。みとろ。かきねり。

第十 春風

一 春風。まよく。やよひのあ。

二 弥生ハ。野邊の。はちまはくさる。

もつさ。みとろ。月。すむね。

第十一

六 ル ニ エ キ マ セ ヨ シ ノ サ サ シ ラ
 1 2 よ し の は き く う の は な さ く み や ま
 ア キ ニ テ ツ ゲ マ セ タ ツ タ ノ 三 ち
 た つ た は も み ぢ の ち て し く な び れ
 六 ナ 廿 ク ハ ル ノ 子 シ タ ノ ケ シ キ
 1 2 あ き は ぎ を ば な は な き き み だ れ
 カ フ ル ク モ ノ タ ツ コ コ チ シ テ
 も 七 も ナ 君 き つ 仰 み ち に け て

第十一 栲紅葉

一 春 風 小。ゆきまのせ。せがのり。栲。
 あたゝし。つがまを。流河のたみぢ。
 二 よ。響。は。は。く。く。は。花。さ。く。み。や。ま。
 あつ。あ。し。紅。葉。の。ち。り。し。く。ち。が。れ。

第十二 花さく春

一 花さく。は。ら。る。あ。た。め。け。た。
 か。な。る。あ。ら。る。き。つ。こ。ら。て。
 二 花。さ。く。を。な。れ。た。ら。な。ら。な。れ。
 そ。あ。ら。る。ま。え。あ。ら。み。ち。に。な。り。

第13番

三手袋 ワホウ 名を冠 三手袋 三手袋 三手袋 マネの ナンバ 三手袋
 ハンタ ナルの ザハシ マネの マネの マネの マネの マネの マネの
 ミ ヤ コ ニ ハ ミ チ モ セ ニ
 ハ ル ノ ニ シ キ ヲ ヅ
 あ き の に し き を ぞ

第十三 又あゝせだ

一 又あゝせだ。何をやさき花梅。
 うたまがさ。みわこりい。
 みちもさり。まへ綿（ト）をぞ。
 きほひさう。おまねして。
 ふるあめり。そあけける。
 二 又あゝせだ。やまべり。
 をかへり。ふきさり。
 うささた。まみちる。
 あたし綿（ト）をぞ。あつじ。
 おあき。けり。
 けり。

第十三

一 又わ〜せむ。何をかさき花梅。
 二 又わ〜せむ。やまべりま。
 をみかへり〜えふきやうりえ。
 うきやうた。きみぢうあふ。
 あたらし綿をぞ。あつ〜びえ。
 おあ葉けて。ほゆあふ。
 は〜ける。

第十三 又わ〜せむ

一 又わ〜せむ。何をかさき花梅。
 二 又わ〜せむ。やまべりま。
 をみかへり〜えふきやうりえ。
 うきやうた。きみぢうあふ。
 あたらし綿をぞ。あつ〜びえ。
 おあ葉けて。ほゆあふ。
 は〜ける。

第十四

マ ツ ノ コ カ ゲ ニ タ チ ヨ レ バ
 う め の は な の き き し つ れ ば
 チ ト セ ノ ミ ド リ ジ ミ ハ シ ム
 の し ら に は 一 る の ゆ き つ も ぞ
 ウ メ ガ エ カ ザ シ ニ サ シ ツ レ バ
 つ ー る の け ど ろ も の さ ぬ れ ば
 ハ ル ノ ユ キ ユ ノ フ リ カ カ レ
 あ き の し も こ ぞ み に は お け

第十四 桜の木

一 桜の木のげよ。あまのきを。
 ちとせのみにぞ身にまゝむ。
 梅がえかぎにさつきた。
 ちるのゆきをふりかき。
 二 うめをさつきたつきた。
 かいらにさるゆきはる。
 勢はけぐるまかさぬま。
 ああろおろそきらおけ。

第五

はな ぬたや ちの ざばや ヨシギ となむ へまの へたあ ケネリギ ぶまが なたら さいげ

ヨシギ ちの へまの さいげ けあや マカマ べまが ヨシギ へたあ ケネリギ ぶまが なたら さいげ

へまの さいげ けあや マカマ べまが ヨシギ へたあ ケネリギ ぶまが なたら さいげ

なご ぶまが へまの さいげ けあや マカマ べまが ヨシギ へたあ ケネリギ ぶまが なたら さいげ

第十五 喜ぶるやよい

一 喜ぶるやよいの。あけぼる。

四方にやまぶを。見あへ。

二 新しうあやも。かなる。

三 新しうあやも。かなる。

四 冬も春も。あはれ。

第一

第一
 4/4
 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水
 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水
 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水
 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水 水

第十六 わが日の水

一 わがひるもあまのあさほらけ
 のすめる思ふが。あふぎにて
 くるくく人をも。喜びやま
 喜き何くかたき。喜里ぬづー
 二 お習りさけお。ほらぬたは
 かきぬにほら。うほばたれ
 友来しけりお。あめつらう
 あらそひつくり。あふら
 三 きぬらひがた。おにー
 やふよれかまを。あつら
 やまももほら。おな
 ねちどあまの。あま乃風
 四 まごうつあらき。にをけー
 ふをゆるおら。あわらゆ
 みやうらうら。あまばや
 ひらつりさゆる。あゆれそり

一
 ちよひたにあらん。梅小とすれ。
 ちよひたにあらん。梅小とすれ。
 ちよひたにあらん。梅小とすれ。

二
 おきよとす。ねんらにすん。
 おきよとす。ねんらにすん。
 おきよとす。ねんらにすん。

三
 おきよとす。ねんらにすん。
 おきよとす。ねんらにすん。
 おきよとす。ねんらにすん。

第十七

様々

1 17 ー 17 17 ー 17 ナノハニトマレ
 2 おきよ おきよ 梅くぬのすずめ

ナノハニ ア イ タ ラ サ ク ラ ニ ト マ レ
 あきひの の あ ま の さ し こ ぬ き き に

サ ク ラ ノ ハ ナ ノ サ カ ユ ル ミ ヨ ニ
 梅 ぐ ら か ら づ て こ ぎ に だ ま ず

ト マ レ ヨ ア ソ ベ ア ツ ベ ヨ ト マ レ
 あ そ ぶ す ず め う た を ゑ す ず め

第八

第一行: 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
 第二行: 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
 第三行: 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
 第四行: 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

第十八 うつくしき

一 うつくしき。あの子やゆいゆい。
 うつくしき。あの子やゆいゆい。
 ゆみこりて。あの子やゆいゆい。
 いさみきまらして。あの子やゆいゆい。

二 うつくしき。あの子やゆいゆい。
 うつくしき。あの子やゆいゆい。
 たがわらわて。あの子やゆいゆい。
 いさみきまらして。あの子やゆいゆい。

三 うつくしき。あの子やゆいゆい。
 うつくしき。あの子やゆいゆい。
 ほこりて。あの子やゆいゆい。
 いさみきまらして。あの子やゆいゆい。

第九

モヤノ一イタードノアケユクソニ一ニ
 チグラフイツールモモヤツトリ丁ハ

アサヒノカゲ一ノ一サミ一ソ一メ一スレバ
 カス三ノウチ一ニ一トモ一ヨ一ビーカハシ

ユメニルア一モ一トクオキイテ一ラ
 アサイ子スル一三ノソノオコタリ一ヲ

ムレツツハナ一ニ一マヒ一ア一ソ一ブナリ
 イサムルサマ一ナルハル一ノーア一ケボノ

第十九 閨の板戸

おやのいゝがら。あけい。うら。
 あき目のかけ。うら。あぬま。
 ねらうといひ。百八十。うら。
 新。ひらう。うら。うら。うら。
 愛みる。うら。うら。うら。
 むき。うら。うら。うら。
 いさ。うら。うら。うら。
 いさ。うら。うら。うら。

第十

第十

第一行: 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二
 第二行: 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二
 第三行: 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二
 第四行: 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二 二二二

第二十

一 ぼくらのひのり。まがらゆあ。
 奉^{ほう}むつき日。かさねい。
 いは^いの年^{ねん}を。き^きた^たる^るを。

二 とうま^{とうま}をゆ^ゆか^かぎ^ぎあ^あと^とて。
 か^かみ^みや^やあ^あら^らま^まん^んづ^づら。
 ろ^ろる^るは^はを^をひ^ひか^から^らと^とり^り。
 さ^さき^きく^くか^かた^たの^のあ^あら^らま^まん^んづ^づら。

三 け^けら^らは^はみ^み。ま^まら^られ^れお^おく^く。
 う^うみ^みや^やま^まと^とか^かく^く。づ^づら^らを^を。
 そ^その^のま^まご^ごら^らを^を。づ^づら^らを^を。
 ひ^ひら^らつ^つら^らは^はく^く。ま^まご^ごら^らを^を。
 ひ^ひら^らつ^つら^らは^はく^く。ま^まご^ごら^らを^を。
 い^いま^まの^のう^うら^らの^のま^まご^ごら^らを^を。
 い^いま^まの^のう^うら^らの^のま^まご^ごら^らを^を。
 い^いま^まの^のう^うら^らの^のま^まご^ごら^らを^を。
 い^いま^まの^のう^うら^らの^のま^まご^ごら^らを^を。

第十一

一 わらむほおのめえはるうちの。武蔵野の
 のほみのれく。わけつはむ。初葉
 二 り葉のなまき。きじろすぢ。ふとけの
 はこべらせり。ちづれは五行の
 三 たつた。それよりこやに。得た
 乃ひま。尋ねてはむ。わのれり。

第十二

一 ねむきよ子。よくわらちごの。ちのみの
 父のねかせや。まのらん。ねむれよ子。
 二 ねむきよ子。よくわらちごの。はるの
 母のちぎや。ちらん。ねむれよ子。
 三 ねむきよ子。よくわらちごの。はるの
 かはらぬみ顔。をのちまを。ねむれよ子。

第二十一 ねむれよ子

一 わらむほおのめえはるうちの。武蔵野の
 のほみのれく。わけつはむ。初葉
 二 り葉のなまき。きじろすぢ。ふとけの
 はこべらせり。ちづれは五行の
 三 たつた。それよりこやに。得た
 乃ひま。尋ねてはむ。わのれり。

第二十二 ねむれよ子

一 ねむきよ子。よくわらちごの。ちのみの
 父のねかせや。まのらん。ねむれよ子。
 二 ねむきよ子。よくわらちごの。はるの
 母のちぎや。ちらん。ねむれよ子。
 三 ねむきよ子。よくわらちごの。はるの
 かはらぬみ顔。をのちまを。ねむれよ子。

第二十三



第 二十三 君が代

第 二十三 君が代

一 君が代も。ちよんちよん。さざれ
 いの。舞となめて。おけのむね
 までうごたせ。く。あ。か。ま。け。小。
 かぎりえ。あら。

二 きききの。は。ひ。の。た。た。き
 い。れ。乃。を。と。あ。ら。は。る。
 ま。で。か。ぎ。り。ち。ま。ま。の。ま。ま。
 ほ。ぎ。き。ま。ま。の。ま。ま。

第二十四

思ひいづれが
 思ひいづれが
 思ひいづれが
 思ひいづれが

思ひいづれが
 思ひいづれが
 思ひいづれが
 思ひいづれが

思ひいづれが
 思ひいづれが
 思ひいづれが
 思ひいづれが

思ひいづれが
 思ひいづれが
 思ひいづれが
 思ひいづれが

第二十四 思ひいづれが

一 おとこいづれが。三年のむら。

か。その日。あつちのむら。

い。おとこいづれが。

二 おとこいづれが。か。おとこいづれが。

あ。おとこいづれが。

お。おとこいづれが。

三 おとこいづれが。

あ。おとこいづれが。

四 おとこいづれが。

あ。おとこいづれが。

お。おとこいづれが。

あ。おとこいづれが。

第七十五

一 カヲリニシラルルハナサク三ソノ
 二 ツキのけてロモふのナサのしみツ
 カスミニニカククルルトリナクハヤシ
 モミガハはにハルルト正ヤまのふもど
 キミカヨイハヒテイクハルマデモ
 カヲレヤカヲレヤウタヘヤウタヘ
 テラサヤテラセヤニ不をに不を

第二十五

葉のいきり

一 かなりにあはるる。花さくは園。

あふかくる。るたははち。

君の代いもむて。幾ままでえ。

果をきや。

二 つたうげてりそ。野中の清水。

もみぢうバルほる。か山のあふ。

さみぐ代えせむいく秋やがま。

てらさや。にやうやにやう。

第二十六

第二十六 阿田川

一 すすぎがはらのあまげらけ。
 二 阿田川あめ。あなまら夜ま。
 三 すすぎがはらのあまげらけ。

第二十六 阿田川

一 すすぎがはらのあまげらけ。
 二 阿田川あめ。あなまら夜ま。
 三 すすぎがはらのあまげらけ。

一 すすぎがはらのあまげらけ。
 二 阿田川あめ。あなまら夜ま。
 三 すすぎがはらのあまげらけ。

一 すすぎがはらのあまげらけ。
 二 阿田川あめ。あなまら夜ま。
 三 すすぎがはらのあまげらけ。

第七十七

ユフモトニクモゾカカリケル タカ子ニユキゾ
 るとつるにバどもあふぐなミ わのぐくにひども

ツモリタル ハダへハユキ コロモハツモ
 不こるなミ てるひのゐ げ そめゆふつき

ソノユキクモヲヨツヒヤル フジテフヤマノ
 つきひとどもにののやきて ふじてふやまの

ミワタシニ シクヒノモナシニルモナシ
 みわたしに しくものもなしにるもなし

第二十七 富士山

一 ふそまにやぞ。あつまける。
 高嶺よりささる。つをあたる。
 けざへまを。ふるまはるえ。
 そのゆあなを。まらひる。
 ふらふらまの。あし。

二 外國人を。あふぐちり。
 わがくに人も。ほくらなあり。
 照る日さし。のげ。こらひら。
 清たひと。あまに。かぶわあま。
 富士を。あふ。あし。

一のまを。あふ。

第二十八 ねがろ

1 オボロニニホフコフヅキヨ サカリニ
 2 ちぐやにすだくむしのゑ ゑぎのは

ニホフモモサクラ ノドーカニチ
 モよぐゑの おと みにーしみて

ノドケキ三ヨノタノシニハ ハナサク
 めにみろまの も きくキの き あはれを

カゲノコノマト井 コノウタゲ
 そぶるおきのよや つきーのよや

第二十八 ねがろ

一 おがろーにちち多げうね。

はくのまにーにほふもけう。

たごのいごのいごたは代の樂いハ。

あそびまげのいそますあか

のいげ。

二 ふ草いさむのい。

をさるるまはのい。

かにい。船小みるおんたかくおえ。

あそびをそめる。あそびる夜や。

しよのい。

第九

4/4

ハニキ ヲサマ ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ

ノミヤ ヲサマ ヲサマ ヲサマ ヲサマ ヲサマ ヲサマ ヲサマ ヲサマ ヲサマ

ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ

ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ ナカニ

第二十九 雨宿

一 雨宿よ。たむけ。の。ま。ま。の。ま。ま。

みづく。に。民草。う。る。ほ。ひ。の。た。

か。こ。の。今。の。ま。ま。の。ま。ま。

み。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。

二 飢。え。の。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。

身。の。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。

あ。の。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。

大。法。衣。の。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。

第三十

1 タ マ ノ ミ ヤ 井 ハ ア レ ハ テ テ ア メ
2 タ フ ヲ の ヨ ズ 三 ヤ 井 ハ ア レ ハ テ テ ア メ
3 サ ヘ ツ ユ サ ヘ イ ト シ ゲ ケ レ ド
4 タ ミ ノ カ マ ド ニ ギ ハ ヒ ハ タ ツ
5 ケ フ リ ニ ゾ ー ア ラ ハ レ ニ ケ ル
6 ミ コ ロ モ ヤ ー ぬ の せ た ま ひ し

第三十 玉の岩居

一 玉此みやわを。あきさる。

雨さし霞さし。うらむらむら。

長乃かまどの。にんげんはな。

きらつ。朝よぞ。あつらひま。

二 冬乃春さむの。月さる。

隙らら。うぜさ。うらむらむら。

長さ。おのほほ。み。うらむら。

大徳衣やぬ。おのほほ。み。

第三十一

1 ヤ マ ト ナ デ シ コ サ マ サ マ ニ
 2 の ぞ の ち ぐ さ の さい ろ さい ろ に

オ ノ ガ ム キ ム キ サ キ ヌ ト モ
 お の が ぎ ま ぎ ま さ き き ぬ と も

オ ホ シ タ テ テ シ チ チ ハ ハ ノ
 お ほ し た て て し あ め つ ち の

ニ ハ ノ フ シ ヘ ニ タ ガ フ ナ ヨ
 つ め の め ギ み を わ ナ る な よ

第三十一 大和撫子

一 やまのなでしこ。こ。さ。ま。さ。ま。に。
 おののち。ぐ。さ。の。さい。ろ。さい。ろ。に。
 おののち。ぐ。さ。の。さい。ろ。さい。ろ。に。
 おののち。ぐ。さ。の。さい。ろ。さい。ろ。に。
 おののち。ぐ。さ。の。さい。ろ。さい。ろ。に。
 おののち。ぐ。さ。の。さい。ろ。さい。ろ。に。
 おののち。ぐ。さ。の。さい。ろ。さい。ろ。に。
 おののち。ぐ。さ。の。さい。ろ。さい。ろ。に。

二 おののち。ぐ。さ。の。さい。ろ。さい。ろ。に。
 おののち。ぐ。さ。の。さい。ろ。さい。ろ。に。
 おののち。ぐ。さ。の。さい。ろ。さい。ろ。に。
 おののち。ぐ。さ。の。さい。ろ。さい。ろ。に。
 おののち。ぐ。さ。の。さい。ろ。さい。ろ。に。
 おののち。ぐ。さ。の。さい。ろ。さい。ろ。に。
 おののち。ぐ。さ。の。さい。ろ。さい。ろ。に。
 おののち。ぐ。さ。の。さい。ろ。さい。ろ。に。

第三十二

一 野邊乃とそいふそる。あやふ。あやふ。あやふ。
 二 飛弾乃正。うけ。うけ。うけ。
 三 義ゆりあそる。あそる。あそる。あそる。
 四 人乃こころ。こころ。こころ。こころ。
 五 歳像ほのり。あそる。あそる。あそる。
 六 澁慎み。あそる。あそる。あそる。
 七 終てふそる。あそる。あそる。あそる。
 八 ひやのころ。あそる。あそる。あそる。

第三十二 第五章の歌

一 野邊乃とそいふそる。あやふ。あやふ。あやふ。
 二 飛弾乃正。うけ。うけ。うけ。
 三 義ゆりあそる。あそる。あそる。あそる。
 四 人乃こころ。こころ。こころ。こころ。
 五 歳像ほのり。あそる。あそる。あそる。
 六 澁慎み。あそる。あそる。あそる。
 七 終てふそる。あそる。あそる。あそる。
 八 ひやのころ。あそる。あそる。あそる。

二 飛弾乃正。うけ。うけ。うけ。
 三 義ゆりあそる。あそる。あそる。あそる。
 四 人乃こころ。こころ。こころ。こころ。
 五 歳像ほのり。あそる。あそる。あそる。
 六 澁慎み。あそる。あそる。あそる。
 七 終てふそる。あそる。あそる。あそる。
 八 ひやのころ。あそる。あそる。あそる。

三 歳像ほのり。あそる。あそる。あそる。
 四 澁慎み。あそる。あそる。あそる。
 五 終てふそる。あそる。あそる。あそる。
 六 ひやのころ。あそる。あそる。あそる。

同調



4カ三ノカクセルヒメコトモの
5つきひとと一もにほめつつちの
サトリスエラルルサマミレバ
チトイフモノハヨノチカノ
ヒトノココロノタカラナリ

同續き

四 邦乃 新 せう。秘 事 一 毛。
 法 少 あり 得 う づ づ。と ち ま 及 ね だ。
 智 と 心 ぶ き ち り ち。世 の 中 の。
 人 此 ち ら へ の。疾 ち り ち。

五 月 日 ち 苦 小。亦 免 け ち り 乃。
 循 環 ち り ち ぬ。さ ま 及 ね だ。
 信 ち り ち ち ち。世 ち り 中 ち 乃。
 人 此 ち ら へ の。守 ち り ち 乃。

第三十三

五倫の歌

父子親あり。君臣義あり。

夫婦別あり。長幼序あり。

朋友信あり。

第三十三

フ シ シン アー リ クン シン ギ ア リ

フ ー ー フ マ ッ ア ー リ

チ ヤ ウ エ ウ ジョ ア ー リ ホウ イ シン ア ー リ

明治十四年十月出版局

文部省藏版々權所有

皇
清
宣
統
三
年
十
月
十
日
刊



073100-001-4

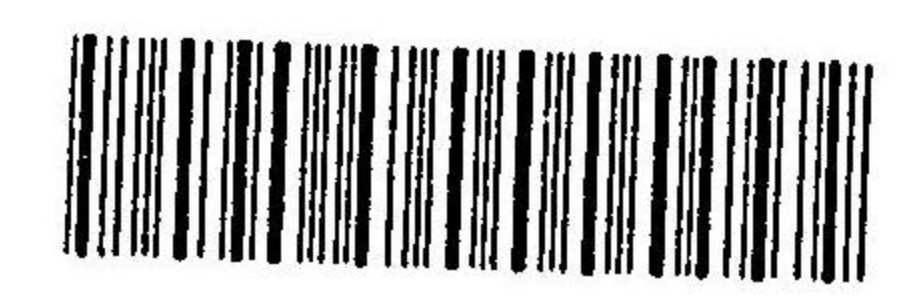
767.7-M753s

小学唱歌集

文部省

M14-17

CEH-0645



| |
|-------|
| 767.7 |
| M753s |
| W |